

南会津 のうりん ニュース



今号の写真：前沢集落

目次

トピックス

- ・田島第二小学校で緑の少年団の結団式が行われました
- ・第1回「おいしいふくしまいただきます！」キャンペーンを開催しました
- ・アスパラ塾開催中
- ・令和7年度南会津地方町村農林担当課長等会議を開催しました
- ・農業水利施設の合同診断を実施しました
- ・「1400のネタばらし」において、「福島ならではの」魅力を発信しています
- ・生きもの調査を実施しました

農林事務所からのお知らせ

- ・農業相談会開催のお知らせ
- ・「令和7年度南会津ふるさとワークステイ事業」参加者募集中！
- ・只見町応援！ショート動画で豪華賞品をゲットしよう
- ・農作業中の熱中症対策を徹底しましょう！
- ・南会ドローン中学校開校！受講者募集中

コラム

- ・キラリと光る南会津の6次化商品～そば屋の手作りシフォンケーキ～【下郷町物産館】
- ・輝く南会津の6次化事業者インタビュー【目黒麴店 七代目 目黒 大地さん】

第226号(令和7年7月4日発行) 福島県南会津農林事務所

トピックス

／ 田島第二小学校で緑の少年団の結団式が行われました ／

5月8日、田島第二小学校(南会津町)において同校緑の少年団の結団式が行われました。

緑の少年団は、次代を担う子供たちが、緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした団体です。

田島第二小学校では、昭和56年から緑の少年団活動が行われており、今年は5年生の児童11名全員が緑の少年団員になりました。

結団式後には、スギやサクラ、ホオノキなどの南会津産の木材で作られた棒を投げて競うスポーツ体験を実施し、団員達に樹種による重量や手触り等の違いを感じてもらいました。

気に入った樹種を聞いてみたところ「ヤマザクラ!」「ホオかなー」と元気な返事があり、今年の団員たちにはヤマザクラが人気でした。

体験の最後には、校庭の周りに生えているスギやサクラなどの樹木について一緒に眺めながら説明し、普段何気なく視界に入っている身近な樹木が体験したスポーツの道具の材料になっていたこともあり、興味津々な様子で説明を聞いてくれていた団員たちが印象的でした。

緑の少年団の活動を通じて、子供たちには緑に親しみ、南会津の豊かな森林を愛して大切に作る心を育んでほしいと思います。(森林林業部)



緑の少年団員



スポーツ体験の様子

＼ 第1回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました ／

5月10日、南会津町まちの駅ふるさと物産館で「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました。

JA会津よつば田島営農経済センターの協力の下、物産館で一定金額以上購入された方には会津田島アスパラを、アンケートにご協力いただいた方には「#青春GAP米(パックご飯)」をプレゼントしました。

当日は会津田島アスパラを求めに来館される方が多く、キャンペーンが予

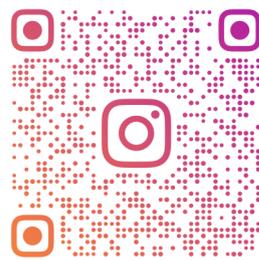
定時刻よりも早く終了し、改めて会津田島アスパラの人気さを目の当たりにしました。また、ベコ太郎(着ぐるみ)がレインコートを着て現れたり、アスパラを使用した料理を提供するキッチンカーも出店するなど、会場は大いに盛り上がりました。県内はもちろんのこと、県外からもSNS等を見て足を運んでくださった方がおり、たくさんの方に会津田島アスパラの魅力とおいしさを発信することができました。

今後も、当事務所では「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催予定です。キャンペーンの情報については当事務所ホームページや公式インスタグラムに掲載します。公式インスタグラムではキャンペーン情報の他にも農林産物の話題やイベント情報を発信していますので、右の二次元コードより是非フォローをお願いします！

(企画部)



キャンペーンの様子



MINAMIAIZU_NOURIN2

当農林事務所
公式インスタグラム

＼ アスパラ塾開催中 ／

今年も去年に引き続き、アスパラガスの栽培をわかりやすく伝えるアスパラ塾を開催しています。

第1回は、5月10日に行い、アスパラガスとはどんな作物か、どのように栽培するか説明しました。アスパラガスを栽培して就農する場合の支援体制についても説明しました。

第2回は、6月7日に行い、土づくりについて勉強しました。その後、アスパラガスほ場へ移動し、1年目(定植直後)、2年目、3年目の違った姿を見ていただくとともに、春作業について勉強しました。

アスパラ塾は、これから、8月2日、10月25日、11月29日と開催予定で、随時参加を受付けています。アスパラガスに関心のある方、栽培している方などアスパラガスが好きな方大募集です。

問い合わせ先

(農業振興普及部経営支援課0241-62-5264)

(JA会津よつば田島営農経済センター0241-63-1172)

(第2回 定植後のアスパラガスの状況を確認しました)



(農業振興普及部)

／ 令和7年度南会津地方町村農林担当課長等会議を開催しました ／

5月12日、南会津合同庁舎2階会議室において、令和7年度南会津地方町村農林担当課長等会議を開催しました。

この会議は、各関係機関や団体が連携・協力して各種事業を効果的かつ効率的に実施するために開催しているもので、当事務所長をはじめ、町村農林担当課長、農業委員会事務局長、JA会津よつば田島営農経済センター及び南郷営農経済センター営農課長が出席しました。

会議では、当事務所から県農林水産業振興計画の概要や主要事業等の説明を行ったほか、各町村やJAからも主要事業等について説明いただき、各機関の情報共有を図りました。

今後も引き続き、関係機関や団体と連携しながら各種施策を展開してまいります。

(企画部)



農林担当課長等会議の様子

／ 農業水利施設の合同診断を実施しました ／

県では、農業水利施設の適切な維持管理を行うために、毎年各町担当課と合同の施設点検を実施しています。農業水利施設とは、農業に使う水を取水したり排水したりする施設で、皆さんの身近にもある田んぼ脇の水路や、川から取水する堰(「頭首工」といいます)、ため池などのことです。これらは地域の農業生産に欠かせないのももちろんのこと、大雨時には洪水・浸水被害を防いだり、施設を流れる水は消雪や防火に使われたりと皆さんの生活の中でも重要な役割を担っています。

今年度は6月6日～9日の間に、管内で11箇所の点検を行いました。

合同点検では、コンクリートのひび割れや変形、金属部分のさびの状況に加えて、水門の場合は実際に操作して開閉状況なども確認していきます。

点検結果は、施設の補修や改修の必要性を判断する材料となり、今後の維持管理計画に役立てていきます。近年は、管理者の高齢化等により日常の手入れや点検の機会が減少し、これまで以上に施設の老朽化や劣化の進行が早まったり、不具合の発見が遅れたりすることが懸念されてきています。

身近な農業水利施設の劣化や損傷が気になった際は、早めに各町の担当課に御相談ください。

(農村整備部)



点検状況(只見町ため池)

「1400のネタばらし」において、 「福島ならではの」魅力を発信しています

県農林水産部では、令和4年度から県産農林水産物のブランド力強化の取組の一つとして、「福島県農林水産部FA宣言」と称し、県産農林水産物や農山漁村の魅力、各種行事、震災後の復興・風評払拭に向け懸命に努力されている生産者の皆さんの姿などを、職員自らが直接取材し、動画等により発信することで、おいしさや「福島ならではの」魅力を伝えていく取組をスタートしています。

その取組の一つとして、福島県農林水産部公式YouTubeチャンネル「1400のネタばらし」を作成し、約1400人の農林水産部職員が、それぞれ自由な発想で動画を企画・制作して公開しており、当事務所職員が工夫を凝らして作成した動画も多数公開されています。

また、当事務所ホームページでは、事務所職員が作成した動画の一覧から、観たい動画へリンクできるようになっていますので、是非御覧ください。

(南会津農林事務所HP:<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/fa1400.html>)



↑農林水産部公式YouTubeチャンネル二次元コード

(企画部)

／生きもの調査を実施しました／



(生きもの調査をする生徒の様子)

生きもの調査は、「ふくしまの農育」推進事業の一環で行われ、田んぼや水路といった身近な場所にいる生物、自然とのふれあい、自然環境やそれを育む農業・農村の有する多面的機能の大切さについて理解を深めることを目的としています。

今年は6月16日に下郷町立旭田小学校の3年生8名と一緒に、小学校近くの休耕田で調査しました。児童たちが夢中になって調査した結果、ニホンアマガエルやガムシ、ヒメゲンゴロウなど様々な生きものをたくさん捕まえることができました。アクアマリンふくしまの職員2名が講師となり、生きものを捕まえるコツや捕まえた生きものの特徴、見分け方を説明しました。さらにアクアマリンふくしまから連れてきていただいたタガメやゲンゴロウなど、今では貴重となった生きものも観ることができ、みんな興味津々でした。

(農村整備部)

貴重な体験ができた1日となりました。

農林事務所からのお知らせ

—農業相談会開催のお知らせ—

当事務所では令和7年度も様々な農業相談会を開催します。まず、農業相談バスツアー(トマト編)と題して、7月5日(土)にトマト生産者ほ場を訪問して農業相談を行うバスツアーが開催されます。また、9月6日(土)には農業相談バスツアー(花き・アスパラガス編)として、花きとアスパラガス生産者ほ場を訪問するバスツアーを予定しています。

その他にも道の駅・まちの駅やスキー場における就農相談会を開催する予定ですので、興味のある方は是非御参加ください。

- | | |
|------------------------|---------------|
| ・農業相談バスツアー(トマト編) | 令和7年7月5日土曜日 |
| ・農業相談バスツアー(花き・アスパラガス編) | 令和7年9月6日土曜日 |
| ・就農相談会in道の駅・まちの駅 | 令和7年8月～9月開催予定 |
| ・就農相談会inスキー場 | 令和8年1月～2月開催予定 |



(昨年度の相談会の様子)

(農業振興普及部)

—「令和7年度南会津ふるさとワークステイ事業」参加者募集中！—

自然が豊かでアウトドアも多彩、高品質な農産物の生産地でもある、ここ南会津地方。この南会津で、農作業体験や新規就農をしてみませんか？

当事務所では新規就農者の確保や都市居住者等と農林業者との交流を促進することを目的として南会津ふるさとワークステイ事業を実施しています。

募集期間: 令和7年4月1日から令和7年11月14日



(アスパラの苗を植える参加者)

農作業や農村への滞在を希望される方が農作業を行う「現地での農作業体験」、オンラインで南会津地域の農家との懇談の機会等を提供する「オンラインでの体験」の2種類が体験可能です。両体験とも当事務所や各町村担当者との就農や移住の相談、空き家見学を併せて行うことが可能です。

詳しい内容は当事務所企画部のホームページに掲載しておりますので、県外にお住まいの方等に御紹介ください！たくさんの御参加をお待ちしております！

事業の詳細については、企画部(0241-62-5252)までお気軽にお問合せください。

(企画部)

—只見町応援！ショート動画で豪華賞品をゲットしよう—

自然、文化、グルメ。只見町にあるたくさんの魅力をInstagramの動画で発信して、豪華景品をゲットしませんか？

最優秀賞(1名)

・季の郷湯ら里 宿泊券(1泊2食2名分) ・只見町共通商品券 10,000円分 ・只見町特産品 5,000円相当

優秀賞(10名)

・季の郷湯ら里 入湯券 ・只見町共通商品券 5,000円分 ・只見町特産品 3,000円相当

ラッキー賞(抽選で20名)

・クオカード 1,000円分

応募方法等については以下の通りです。

1.動画の題材

只見町の自然、文化、グルメ等に関する動画。

2.応募期間

令和7年8月31日(日)まで

3.応募方法

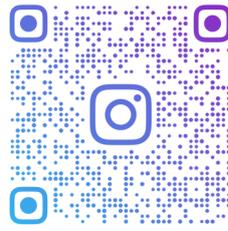
・只見線ポータルサイトInstagram公式アカウント「@tadamiline.portal」及び南会津地方振興局公式アカウント「@minamiaizu_kikakushoukou」をフォローする。

・只見町の自然、文化、グルメに関する10秒以内の動画を撮影し、ハッシュタグ「#只見町応援動画コンテスト」を付けて投稿する。

応募条件等の詳細については南会津地方振興局HP(下記URL)を御確認ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01250a/tadamishortmoviecontest.html>

(企画部)



TADAMILINE.PORTAL

只見線ポータルサイト



MINAMIAIZU_KIKAKUSHOUKOU

五感で感じる、
自然と文化 南会津

—農作業中の熱中症対策を徹底しましょう！—

県内では、毎年5月上旬から農作業時の熱中症被害が発生しています。今年の南会津地方は、5月の気温は平年並みでしたが、6月は気温が平年よりかなり高くなっており、熱中症への注意が必要となっています。

次のことに気を付けて、暑い季節を乗り越えましょう！

- ①睡眠をよくとり、体調が優れない時は作業を控える
- ②空調服や吸湿速乾性の衣服、帽子など熱中症対策アイテムを積極的に活用する
- ③1時間に1回、10分程度の休憩を取り、のどが渇いていなくてもコップ1杯以上の水分補給を行う
- ④作業はできるだけ複数人で行い、定期的に異常が無いか確認し合う(もし1人で作業を行う場合は、家族や周囲の人に作業場所などを事前に伝える)



(出典:環境省「熱中症予防カード」)

(農業振興普及部)

—南会ドローン中学校開校！受講者募集中—

ドローンスクールのない南会津地方において、福島県がドローンスクールを運営し、ドローンの操縦士を育成します。県内外でドローン活用が進む中、どうかこの機会を逃すことなく、地域全体でドローン活用の輪を広げながら若者等が活躍できる地域の実現を目指していきましょう。

- コース :ドローン操縦士育成コース(その他コースもあり。詳細は下記QRコードよりご確認ください。)
- 定員 :20名(超過時は選抜)
- 会場 :旧檜沢中学校(南会津郡南会津町福米沢字大田1340-1)
- 内容 :3日間かけて民間ドローンスクールのライセンスを取得。(国家ライセンス非対応。)
4名5組に分けて実施。受講料は1万円。(1日目に運営会社に直接支払い。)
- カリキュラム:1日目(座学、筆記試験)→9:00~16:30【1組~5組共通】8/20(水)
2、3日目(実技、実技試験)→9:00~16:00
【1組】8/21(木)、8/22(金)【2組】9/4(木)、9/5(金)【3組】9/29(月)、9/30(火)
【4組】10/8(水)、10/9(木)【5組】10/17(金)、10/18(土)
- 条件 :・1組~5組の日程で受講できること。
・ドローン活用人材育成コースの基本プログラムをすべて受講できること。(動画可)
・後に設立するドローン人材ネットワークに加入し、ドローンイベント等の活動に可能な限り協力できること。
・南会津地方でドローンを用いて活躍する熱意を有すること。
- 申込方法 :南会ドローン中学校のホームページから受講申込(審査あり)
申込期限 令和7年7月14日(月)
結果通知メール 令和7年7月16日(水)



(HPはこちらから→)

(企画部)

コラム

キラリと光る南会津の6次化商品 ~そば屋の手作りシフォンケーキ~

【下郷町物産館】

今回御紹介するのは、下郷町物産館が製造・販売する「そば屋の手作りシフォンケーキ」です。下郷町産のそば粉と卵を使用した生地に、同じく下郷町産のじゅうねんが練り込まれています。

食べるとふわっとした軽やかな食感が口いっぱいに広がり、控えめな甘さと卵の風味が感じられます。また、そばの風味豊かな味わい、じゅうねんのプチプチ食感を楽しむことができます。上りのったホイップクリームとも相性抜群で、和と洋が絶妙に調和した商品です。



そば粉の他にも、下郷町産の米粉を使用したココア味、アールグレイ味、抹茶味があります。下郷町物産館で購入することができますのでぜひ御賞味ください。

【下郷町物産館】

📍 下郷町大字弥五島字道上3177
☎ 0241-67-4433

輝く南会津の6次化事業者インタビュー【目黒麴店 七代目 目黒 大地さん】

只見町にて明治32年に麴屋として創業。2024年に商品開発した6次化商品の「生きしめん」は「ふくしま満点堂プレミアム2024」を受賞。伝統を継承しつつ新たな分野へ挑戦し続ける、目黒麴店。今回は7代目・目黒大地さんにお話を伺いました。

○これまでの経歴を教えてください。

高校生までも只見町で過ごし、進学を機に仙台へ、その後は横浜でシステムエンジニアとして7年間サラリーマン生活を送りましたが、このまま働き続けることに面白みがないなという思いが出てきました。また元々親からも後を継いでほしいと言われており、「地元只見に帰るなら早いほうがいいかな」という気持ちから、Uターンし家業を継ぐことを決意しました。

○取り組まれている6次化商品の紹介をお願いします

創業時から作っている麴も味噌も、地元の米や大豆を使っており、創業以来6次化商品に取り組んでいることになりますね。私が継いでから商品開発したものは「南郷トマトラーメン」です。麴にもスープにも南郷トマトを入れています。同じ南会津の企業である(株)食農価値創造研究舎と共同開発したものです。また、去年は「生きしめん」を新しく作りました。こちらは会津産小麦「ゆきちから」を配合してあります。この小麦を使って作る麴は、しなやかでつるみがあります。幅広の麴にすると、つるみがよりであるため、きしめんにすることにしました。ふくしま満点堂プレミアム2024を受賞しているこの「生きしめん」も、ぜひ多くの人に食べていただきたいですね。

○Uターンして働居中で、南会津への思い等をお聞かせ願います。

南会津を盛り上げていきたいという思いが一番ですね。町全体で活気づいているとUターン者が戻ってきやすくなるのかなと思っております。そのためにも地元のイベントには積極的に参加しています。

また、「南郷トマトラーメン」は(株)食農価値創造研究舎と一緒に開発したり、味噌等の材料も地元の農家から仕入れています。私たちが頑張ることで、コラボしている企業や農家と二人三脚、相乗効果で活性化できると考えています。事業者同士でも盛り上げていきたいですね。

○最後に今後の目標を教えてください。

まずは、事業規模を大きくしていくことです。規模が大きくなることで新たな雇用が生まれ、Uターン者やIターン者の働く場の選択肢の一つになればと思います。また、前職のSE経験を活かしたECサイトでの販売にも力を入れたいです。具体的には、うちの商品だけでなく、関わっている事業者の商品もうちのECサイトで販売したいなと思います。ECサイトでの販売はある程度スキルが必要ですので、私たちが窓口となり、只見町ひいては南会津の商品を全国に届けたいです。



(七代目 目黒 大地さん)

創業以来作り続けてきた麴から、「南郷トマトラーメン」、「生きしめん」等新たな6次化商品の開発。さらには対面販売からECサイトの活用。いつまでも変わらない本質的なものを大事にしつつ、新しい変化も取り入れる姿は、現代社会の課題解決に向けても必要な姿勢であると感じました。

目黒さん、今回はお忙しい中インタビューを引き受けていただき、ありがとうございました。

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1 ☎0241-62-5252 FAX0241-62-5256

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/>